

harmony

— 岩手県立中部病院 地域連携便り VO1.12 —

— ごあいさつ —

院長 えんどう ひでひこ
遠藤 秀彦



日頃より大変お世話になっていることに対し感謝申し上げます。

サッカーワールドカップブラジル大会もドイツの圧倒的な優勝で幕を閉じましたが、期待していた日本代表の予選リーグ敗退でサッカーファンの私としてはちょっとした脱力を感じているところです。

さてわが国では少子高齢化が叫ばれて久しいですが岩手ではすでに高齢化率が27%を超えており、大都市圏ではこれから急速に高齢化が進み団塊の世代が75歳に達する2025年には多くの医療介護難民が出ると予想されています。昨年8月に出された社会保障制度改革国民会議の報告書(少子化対策、医療・介護、年金の3部構成)に従い本年6月には「地域医療・介護総合確保推進法」が国会を通過し遅ればせながら国も高齢社会の医療介護体制に本腰を入れてきました。この法律は医療体制の再編に向けた政策手段の拡充、介護サービスの給付抑制、地域支援事業の充実のほか院内事故調等々19本の法案を一括した巨大な法案で、「地域包括ケア」という考え方を基本にして今後の地域医療・介護の在り方を大きく左右することになります。当地域では他地域に先駆けて病診・病病・医科歯科・薬薬連携が進んでおり、今後もこれまで培った連携を住民・行政と一緒にあって発展させることと並行して医療機能の分担の明確化も進めなければなりません。まさに地域力・現場力が試されることとなります。

先日発表された東洋経済新報社による「住みよさランキング」で北上市は5回連続で岩手県1位(県内14市で比較、花巻市は5位)になりましたが、医療や介護、保育環境などの「安心度」の分野では全国791都市中539位で県内では最下位のランキングであり、「住みやすいんだけど医療に関してはちょっと不満」と評価されており医療に関して一層の努力が必要であることが示唆されています。また岩手県では脳卒中死亡率全国ワースト1の汚名を払拭すべく「岩手県脳卒中対策推進県民会議」を発足させ減塩、肥満防止等疾病予防の重要性をクローズアップし地域連携、シームレス医療、チーム医療そして住民の行動変容等に県民運動として総合的かつ効果的に取り組む方針を打ち出しました。中部医療圏でもこれまでの地域連携をさらに強化しながら本運動に積極的に関わっていくことが求められるでしょうし、急性期を担う当院も急性期の治療のみならず疾病予防への積極的な関与も必要になると思います。

「harmony」をお読みいただいた皆様には医療連携に関してご忌憚のないご意見をいただけるようお願い申し上げます。

第1回 地域医療研究会 開催報告



まとめ

- ◆ **超高齢化社会**はもうすぐそこに
2025年問題に真剣に取り組もう
- ◆ 限りある医療資源を有効に
…機能分担、シームレスな連携、**ICT利用**
- ◆ **東日本大震災**からの復興も新しい**高齢社会**の**コミュニティ**づくりのモデルになる？
- ◆ **これからの医療**…地域包括ケア
病院から地域へ 生活重視 街・地域作り

中部地区は地域包括ケアのモデルになれる

平成26年8月21日（木）に今年度第1回目の地域医療研究会を開催いたしました。

一般演題は、ゆかわ脳外科の釜石琢美氏による「利用者の主体性を引き出すためのリハビリテーション」、あや歯科医院の高橋綾先生による「当院における妊婦歯科検診の状況について」、鈴木眼科吉小路の鈴木武敏先生による「地域医療と眼鏡の重要性」、ホームケアクリニックえんの千葉恭一先生による「家族介護のない独居末期がん患者さんの在宅看取りについての検討」の4題の講演をいただきました。

特別講演として当院の遠藤院長から「超高齢化社会と地域医療」と題してお話しし、平日夜の開催にも関わらず院内外から100名を超えるたくさんの方にご参加いただきました。どの演題も大変興味深い内容でした。演者の先生方、参加者の皆さん大変ありがとうございました。

なお、次回の地域医療研究会は平成27年2月の頃開催予定としております。

☆中部病院への救急患者さんのご紹介について☆

地域の先生方から救急患者さんを中部病院へご紹介頂く際、ある程度病名等が特定されている場合は救急対応も含めて専門各科の医師が対応させて頂いております。緊急で当日受診を要する場合に直接専門各科の医師あてにお電話を頂戴したいと思います。

専門科の指定がない場合や判断に迷われている場合につきましては救急担当の医師が対応させて頂きますので、お電話でその旨をお伝え頂きたいと思っております。

患者さんのスムーズな受け入れのため、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

新任医師紹介

平成 26 年 5 月 1 日以降に着任した医師の紹介です。よろしくお願いします。



氏名	藤島 洋介（ふじしま ようすけ）	（8月1日から）
診療科・役名	泌尿器科・医長	
所属学会	日本泌尿器科学会（専門医）、日本泌尿器科内視鏡学会、日本透析医学会、日本癌治療学会	
ひとこと	地域医療に貢献できるよう励みたいと思います。宜しくお願いします。	

平成26年度第1回 医科歯科連携連絡会 開催報告



平成 26 年 5 月 26 日（月）に今年度第 1 回目の医科歯科連携連絡会を開催いたしました。

各歯科医師会の先生方や、保健所・市役所の担当者、当院の医師・スタッフが一同に集まり、前年度の実績報告等を行いました。

特に今回は、この 4 月から花巻市歯科医師会の参画により新体制で活動している NST 歯科回診について、歯科医師の先生方のご尽力により順調に経過していることや、回診継続の指標について院内で検討する必要があることなどが報告されました。

がん診療医科歯科連携については、これまでの連携によって大きな効果のあった症例の報告や、歯科治療を優先したほうがよい場合に、患者さんも理解して頂ければ中部病院でのがん手術等を延期できる症例があることなど、今後の更なる連携を期待できる内容が話し合われました。

中部病院は、外来通院中や入院中でも歯科治療のできる医科歯科連携をさらに進めていきたいと考えておりますので、今後とも皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。



地域医療福祉連携室からのお願い

◇当院は予約制です◇ 基本的に外来診療は予約制とさせていただきます。

患者さんが予約なしに紹介状をお持ちいただいた場合、長時間お待たせしたり、外来の状況によっては予約を取り直して後日来院いただくこともありますので、お手数をおかけしますが、緊急の方以外は F A X で事前予約のお申込をいただくようご協力をお願いいたします。



☆認定看護師 紹介☆

当院には現在9名の認定看護師が在籍しています。各専門知識を生かし院内外で活躍中の彼女達をシリーズで紹介していきます。



後列一番左が小石明子看護師、
前列一番左が鈴木直子看護師、
前列左から二番目が畑山今日子
看護師

〈認定職種〉 感染管理認定看護師

〈氏名〉 小石 明子

〈主な仕事の内容〉 感染管理業務の専従として、院内感染予防活動や、感染症発生時の対応を行っています。

〈ひとこと〉 感染対策は地道な活動ですが、明るく前向きに！がモットーです。どうぞお気軽にご連絡ください。

〈認定職種〉 感染管理認定看護師

〈氏名〉 鈴木 直子

〈主な仕事の内容〉 神経内科・脳神経外科病棟で勤務しています。病棟を中心に感染管理活動を行っています。

〈ひとこと〉 これから、感染管理活動を精一杯頑張りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

〈認定職種〉 がん性疼痛看護認定看護師

〈氏名〉 畑山 今日子

〈主な仕事の内容〉 緩和ケアチーム専従看護師として、症状の緩和や療養の支援、がん相談等の仕事をしています。

〈ひとこと〉 平成25年に認定看護師となり、まだまだ未熟者ですが、がん患者さん、ご家族を支えるお手伝いをしていきたいです。よろしくお願いいたします。

連携コーディネーターのご紹介



今年度着任いたしました、鈴木弘子 連携コーディネーター（看護師）をご紹介します。
窓口に来院された患者さんや、電話での受診相談、医療機関の先生方からのご相談、研究会や研修会の企画・準備などを行っています。
どうぞよろしくお願いいたします。

岩手県立中部病院 地域医療福祉連携室
〒024-8507 岩手県北上市村崎野17地割10番地
TEL 0197-71-1511 FAX0197-71-1881（地域連携室専用）
URL <http://www.chubu-hp.com/>（平成26年9月）

